

平成 23 年 2 月 18 日

各 位

東京都目黒区青葉台三丁目 6 番 16 号
株式会社 B B H
(URL <http://www.bbanc.co.jp>)
代表者名 代表取締役社長 大島 剛生
(コード番号：3719)
問合せ先 管理本部長 江口 航
電話番号：03-5456-3051

平成 22 年 12 月期通期業績予想との差異に関するお知らせ

平成 22 年 7 月 26 日付け「平成 22 年 12 月期第 2 四半期累計期間業績予想との差異及び平成 22 年 12 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」において公表しております平成 22 年 12 月期通期業績予想との差異について、以下のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 22 年 12 月期通期連結業績予想との差異（平成 22 年 1 月 1 日～平成 22 年 12 月 31 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	1,253	4	4	51	5 円 73 銭
今回実績値 (B)	1,289	△42	△39	9	1 円 02 銭
増減額 (B-A)	35	△47	△43	△42	—
増減率 (%)	2.9	—	—	△82.2	—
(ご参考)前期実績 (平成 21 年 12 月期通期連結)	1,166	△373	△375	△304	△33 円 58 銭

2. 平成 22 年 12 月期通期個別業績予想との差異（平成 22 年 1 月 1 日～平成 22 年 12 月 31 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	76	△120	△111	△46	△5 円 18 銭
今回実績値 (B)	80	△111	△103	△60	△6 円 70 銭
増減額 (B-A)	3	9	7	△13	—
増減率 (%)	5.1	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成 21 年 12 月期通期個別)	181	△161	△148	△147	△16 円 31 銭

3. 平成 22 年度通期業績予想との差異理由

当連結会計年度前半において、景気は回復の兆しを見せており、当社の主要事業であるコンサルティング事業においても、受注及び業績の回復が見られるものでありました。当該回復傾向が継続するとの見込において業績予想を策定しておりましたが、当連結会計年度後半に入り、ユーロ圏の危機、継続的な円高、国内株式市況の不振等の不安材料から、景気回復は減速し推移いたしました。

このような経済環境を受けた企業の設備投資意欲の停滞は、当社グループにおいて継続受注を見込んでいたプロジェクトの中断、新たな領域のコンサルティングサービスの受注進捗の鈍化という結果を招くこととなりました。こうした中、コンサルティング要員の再配置、代替プロジェクトの獲得等の施策により、連結売上については前回業績予想に従った推移であったものの、外注費用の増加等により、連結営業損失 42 百万円（前回予想比 47 百万円減）、連結経常損失 39 百万円（前回予想比 43 百万円減）、当期純利益 9 百万円（前回予想比 42 百万円減）となりました。

また、個別業績におきましては、売上高、営業利益、経常利益は前回予想通りの推移となりましたが、連結納税制度におけるグループ内各社の個別帰属額の取受がグループ全体の利益縮小の影響を受けたため、当期純損失は 60 百万円（前回予想比 13 百万円減）となりました。

以上